

2020
May

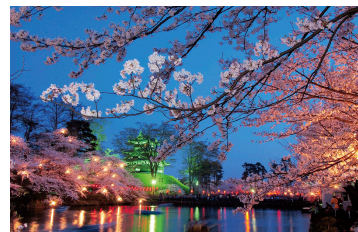
Vol.11

5 ガバナー月信



目次

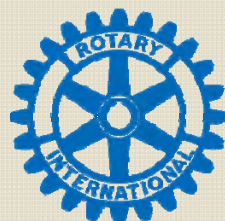
ガバナーメッセージ	1	R/コロナについて	11
会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告	2	新会員紹介/訃報	18
ロータリー財団奨学生面接選考会	3	3月末会員数及びMy Rotary登録率	19
新発田城南RC滑動報告	5	予定表 5月 6月	20
十日町RC滑動報告	7	ロータリーコーディネーターNEWS	21
COVID-19対応について	8	ハイライトよねやま	22
義捐金に関する報告と御礼	10	ロータリー文庫通信	24



国際ロータリー第2560地区 2019-20年度ガバナー事務所

〒943-0834 上越市西城町2-3-9
TEL : 925-512-1435 FAX : 025-512-5854
E-MAIL m.otani@rid2560niigata.jp

Rotary





ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2560地区
2019-20年度 ガバナー
大谷光夫（高田RC）

国際ロータリー第2560地区ロータリアンの皆様こんにちわ。今回は少し明るい話題を書きたいと思いましたが、残念ながら状況は増々悪くなっていくようで困ったものです。

振り返れば今年に入ってから中国で新型の感染症が出ているようだ、というニュースを耳にしたと思ったらほんとうにアツという間に世界中を席卷し今だに猛威をふるっています。

正直誰も、ただの一人もここまでひどい事になるとは思ってもみなかったでしょう。かくいう私も二月頃は二ヶ月位経てばある程度先が見えるのではないかと感じていたのですが大甘でした！！！！

4月18日現在、今回の新型コロナウイルス感染症による世界の死者数は15万人になりました。100年前におよそ1千万人が亡くなったといわれるスペイン風邪。14世紀に世界人口4億5千人の約22%1億人が亡くなったといわれるペスト（黒死病）。その他これまで人間はさまざまな災厄に襲われてきましたが、そのたびに人類は大きな犠牲を払いながらも何とか乗り越えてきました。現代の私達にはここまで世界同時的な大きな災厄は初めてですが、皆が力を合わせ英知を結集して何とかしなくてはと強く思います。

さて現今ほぼ全てとっていい位あらゆる会合、催しといえるものが中止、延期です。一体どうなってしまうのか先の事を考えるのも恐いくらいです。

当たり前のことですがロータリーも世界大会をはじめ行事等全て中止となりました。私達のRI第2560

地区もPETS、地区研修協議会をはじめ各委員会会合、各クラブの周年事業、そして何よりロータリーの基本たる毎週の例会もほぼ全て中止となりました。

ロータリーの活動休止はともかく今回のことで経済活動が休止縮小され、その為に苦境に立たされている会員の方々に心からお見舞い申し上げますと共に一日も早くこの騒ぎが終息して元のような世の中になることを切に願っています。この先に明るい未来が待っていると信じたいと思います。皆様どうぞお元気で。



2020-21年度 会長エレクト研修セミナー（PETS）報告

2019-20年度
PETS実行委員会
委員長 関根初典（村上岩船RC）

世界中で被害が拡大している新型コロナウイルスの状況を受け、国際ロータリー理事会では、細則で定められている地区研修会（会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会）について、開催時期の延期やオンライン研修等、各地区での柔軟な対応を認めることを決議しました。

当国際ロータリー第2560地区では、政府から発令された新型コロナウイルス感染症対策基本方針、RI日本事務所からの連絡及び当地区での感染者の発生に鑑み、集合研修は行わず映像資料DVDと紙資料プログラムでの自主講習、その後の受講レポート提出をもって参加を代替する方法に変更することといたしました。

本来、2020-21年度会長エレクト研修セミナーは、村上RC及び村上岩船RCがホストクラブ、第一分区の他 RCがコ・ホストクラブとして、地区内全クラブ会長エレクト、幹事エレクト並びに地区役員の皆様をお迎えし、3月14日（土）に村上瀬波温泉の「大観荘せなみの湯」にて開催する予定でありました。しかしながら、前述の通り集合研修は行わないこととなり、皆様に村上の地にお越し頂く事が叶いませんでした。PETS実行委員会では、有意義な研修セミナーとなるよう万全の準備を進めていただけに大変残念ではありますが、現状を鑑みると致し方ないと思っております。

映像資料DVDと紙資料プログラムについては、佐藤ガバナーエレクト、新保地区研修リーダーそして各委員長など多くの地区役員の皆様のご協力により作製いたしました。しかしながら、如何せん初めてのことであり、不具合など至らないところが多々あったのではないかと推察いたしますが、ロータリーの友情によりご容赦いただいたものと勝手に思っております。

会長エレクトの皆さまにおかれましては、本寄稿がガバナー月信に掲載される5月1日には、その映像資料DVDと紙資料プログラムでの自主講習を終え、受講レポートをすでに提出されていることと存じます。前例にない方式となりましたが、本研修セミナーを十分に生かし会長職を立派に勤め上げ、国際ロータリー第2560地区の全クラブが益々活性化することを祈念申し上げます。



ロータリー財団奨学生面接選考会

2019-20年度
奨学金・VTT委員会
委員長 吉井直樹（三条RC）

2020年4月4日、新潟市中央区の万代シルバーホテルに於いて2020-2021年度の地区奨学生、グローバル奨学生の選考面接が開催されました。

今年度は奨学生募集に例年と違いグローバル奨学生に2名の方より応募がありました。当日は2名の地区奨学生希望の方と合わせて4名の方が選考面接になりました。ご存じの通り今年の選考会はコロナウィルスの拡散防止対策を全国的に行っている最中で、多人数の会合を自粛している中での開催となりました。そんな中で、面接を行って良いものかとの葛藤が有りましたが、青少年奉仕の実践として、留学を推進していきたいとの思いの中、時間的な制約を鑑み、この時期に面接を行わないと留学手続きに支障が出るとの判断で、面接官も少人数で、また、空間を広く取りできるだけ短時間で済ますことで、感染リスクを低減して行うことといたしました。

新保財団委員長、山田財団副委員長、斉藤財団副委員長、高橋学友会委員長、徳永資金管理委員長、そして奨学金委員長吉井の6名で日本語面接を15分ずつ行い、私自身は進行役としても立ち会わせて頂きました。皆さん緊張の中にも志ある若者のひたむきなそして情熱のある発言に心を動かされ、またその深い将来像と奉仕の精神に感銘を受けさせていただきました。

いずれの受験生も甲乙付け難く、限られた予算のなかで出来る最良の選択を求めて選考会議が行われ、2020-2021年度地区派遣奨学生予定者2名が決定し、本人並びに推薦クラブにその旨通知をさせていただきました。今年度はコロナ禍の中での留学となります。この原稿を書いている時点では財団本部のすべての承認事項が止まっています。また、渡航禁止や入国拒否の国もあり先行きは不確定要素が多々ある状態です。私たち奨学金委員会ではできる範囲において粛々と準備を進めるしかありません。選ばれなかった方も含め、応募者の未来がかない、将来2560地区のみならず日本、世界で活躍を大いに期待していきたいと思えます。





「衛生管理を徹底しましょう」 の啓発運動について

2019-20年度
新発田城南ロータリークラブ
会長 長谷川寿一

新型コロナウイルスが日本にまん延し始めてはや二ヶ月以上が経過しました。

新発田城南RCは2月最終のメール理事会にて3月5日を休会し3月12日を5月の振替休会と入替し、その後の例会は様子を見て開催することとしました。ところが日に日にコロナウイルスの状態が悪化した、例会開催も危ぶまれると思ったのですが、幸い当クラブにはHPに例会動画環境が整っていたのでweb例会にすることを理事会にて決定いたしました。

その中で我が城南RCで何かできることはないかと協議した結果、衛生管理の徹底を啓発しましょう。と声があがりクラブで啓発活動をする事になりました。ですが既にマスクは品薄状態のため会員が自宅や事業所から持ち寄り約1000枚を一枚ずつ透明袋に入れ、またポケットティッシュも1000個準備しました。



会員15名程で毎回1時間の予定で計画を立て一回目の活動日である3月13日は、公立高校入試の合格発表の日でもあり新発田駅前「衛生管理を徹底しましょう」の幟を立てて配布すると合格発表帰りの学生や親御さんに大変喜んでいただきました。



二回目の3月19日は新発田市役所前で活動しました。

この回からは会員の奥さんたちに手作りマスクを依頼し300個作成したものと市販品マスク、そして取引会社で在庫があったアルコール除菌のウェットティッシュ300個も合わせて配布できました。



市役所の職員さんからも手作りマスクは好評で作り方を教えてほしい。どこかで販売しているのかなどの問い合わせもあり、この日も市民の皆さんに大変喜んでいただくことができました。

その後も手作りマスクを準備して貰い、活動最終日の3月23日には、市販品マスクとポケットティッシュ、

ウェットティッシュとともに新発田市内のショッピングセンターピオ21の屋外広場で活動することができました。この日は天気も良く学校が休校で家族とともに買い物に来ていた子供達にも喜んでいただくことができました。



新潟市でもクラスター感染が発生し、また東京都内では外出自粛ムードが高まってはいるものの日ごと感染者が増加して不安が募る日々です。

日本は勿論、世界中が待ちに待った東京オリンピックが開催予定だった2020年はこれからどんなことが待ち受けているのかわかりませんが、コロナが終息し来年は歓喜溢れる中で東京オリンピックが開催され、世界中の人々が笑顔になれることを願い次の活動に繋げていきたいと思っています。



青少年奉仕活動報告

2019-20年度
十日町ロータリークラブ
青少年奉仕委員会 村山徹

十日町ロータリークラブでは、平成3年より地域の青少年の活躍に対し表彰することが決まったのは平成3年度滝沢会長の年度から始まり第1回の表彰はアジアジュニア大会出場の小林、田川君そして現クラブ会員の大島太郎君の弟二郎君（中央大学）のユニバーシアード世界大会ノルディックスキー第2位をはじめ、全日本ジュニアスキー大会、全中大会、高校生のインターハイ、での陸上競技、水泳競技、クロカンスキー競技の優勝者、優勝チームを表彰してまいりました。以来その表彰者数は今回の十日町高校坂井選手の表彰を含め21人（チーム含む）に上っております。この歴史ある青少年奉仕活動についてはいろいろな活動が地域内でなされておりましたが、わかりやすく地域の皆様にロータリーと地域を結ぶ大きな懸け橋となるべく、また活躍する青少年のおおきな力添えになるよう表彰を行ってきました。ただしこの表彰には高いハードルを設けてあります。該当する大会の基準が全日本ジュニア選手権、全国中学校大会全国高等学校大会、大学生の参加する国内、海外の大会で優勝された児童生徒学生であることであります。これらをクリアした青少年、児童がたくさん輩出することを願っております。





COVID-19（新型コロナウイルス） 対応状況まとめ

2019－20年度
青少年交換委員会
委員長 三牧好起（頸北RC）

青少年交換委員会では、COVID-19（新型コロナウイルス）の対応について下記の通り実施してきました。

一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構（RIJYEM）の指針（その1～その4）の通達を受けて、交換学生を守ることを最優先として2560地区としては2019-20年度の交換はインバウンド、アウトバウンドの学生は共に早期帰国する事に決定しました。今年度の長期派遣学生3名については、全員が3月中に帰国をして2週間の待機を終え全員健康であることを確認しております。また長期受入学生3名については、交換相手地区や保護者の対応に苦労しましたが、最終的には早期帰国についてご理解を頂き4月26日には全員帰国予定となり安心しております。

また2020-21年度の交換については、RIJYEMの指針（その5）で2020-21年度の青少年交換プログラムの中止の要請について通達がありました。

この通達を受け4月9日に関係者で協議を行った結果、COVID-19から青少年交換の若者を守ることを最優先であることを基本方針として、2020-21年度の青少年交換プログラムは中止で決定致しました。

海外に派遣される子供達、また日本に来る子供達は、それぞれに大きな夢を抱いて新しい未知の世界を楽しみにしていたと思いますが、大変残念であります。

最後に今年の年末には2021-22年度の交換準備を始めなければならない時期に世界がどうなっているか誰も予測できません。しかしロータリー青少年交換の灯は消してはなりませんのでCOVID-19との戦いに勝って青少年交換を続けていく環境になることを願ひましてご報告とさせていただきます。

記

- 2月18日 関西研修の中止を決定し関係者に報告
- 2月20日 スキー研修の中止を決定し関係者に報告
- 2月27日 RIJYEMよりCOVID-19対応指針その1(RIJYEM危機管理委員会)通達
- 3月9日 RIJYEMよりCOVID-19対応指針その2(来日学生早期帰国)通達
- 3月10日 交換相手地区に早期帰国について連絡
- 3月12日 ドイツ1842地区ユディッツ両親より日本残留のお願いの連絡あり
- 3月13日 ドイツ1842地区(栗田様)青少年交換学生帰国の問合せ①
- 3月13日 ドイツ1842地区(栗田様)に返信
- 3月13日 RIJYEMよりCOVID-19対応指針その3(派遣学生早期帰国)通達
- 3月13日 ガバナー事務所にて今後の対応協議
- 3月16日 第5100地区オレゴン州にクリスチャン帰国
- 3月18日 スポンサークラブへ長期派遣学生の早期帰国を通達
- 3月19日 長期派遣学生全員の早期帰国承諾を得る
- 3月19日 ドイツへ日本に残留する場合の誓約書を送付
- 3月21日 交換相手地区(第5100地区オレゴン州)に長期派遣学生早期帰国決定の連絡
- 3月24日 第5100地区オレゴン州派遣学生の佐藤花与が帰国し自宅待機
- 3月24日 ドイツ派遣学生の神谷優季が帰国し東京ホテルで待機
- 3月25日 ドイツ1842地区(栗田様)誓約書についての状況確認
- 3月25日 ドイツ1842地区(栗田様)よりRIJYEMに質問
- 3月26日 ドイツ1842地区(栗田様)より誓約書の協議について中間報告あり
- 3月27日 ドイツ1842地区(栗田様)へRIJYEMから質問への回答
- 3月28日 ドイツ学生のアナ、ユディッツとガバナー事務所にて今後の対応協議
残留誓約書の提出期日を4月3日日本時間24時と決定する
- 3月29日 ドイツ1842地区より残留誓約書が送られてくる
- 3月29日 ドイツ長期派遣学生の小田夕が帰国し自宅待機
- 3月31日 ドイツへ残留誓約書と最終的な帰国方法の対応の確認について通達
- 3月31日 RIJYEMよりコロナウィルス対応指針その5(次年度交換中止)通達
- 4月2日 ドイツ学生2名共早期帰国を選択する
- 4月4日 2020-21年度青少年交換についてガバナー事務所にて協議
- 4月6日 神谷優季が東京での2週間のホテル待機を終え帰宅
- 4月9日 2020-21年度交換についてオンライン会議を開催し交換の中止が決定
- 4月14日 スポンサークラブ、派遣予定学生、学校関係者等に派遣中止の通達
- 4月15日 委員会にて派遣予定だった学生に次年度以降の交換について意向確認
- 4月20日 交換相手地区に2020-21年度青少年交換プログラムの中止を通達
- 4月26日 ドイツ学生(2名)帰国予定(富山空港から羽田空港へ移動)

以上

4月4日 2020-21年度青少年交換についての協議



義捐金に関する報告と御礼

2019年9月・10月に発生した台風豪雨災害に関し、第2790地区（千葉県）に義捐金1,650,000円を送金致しましたことを報告いたします。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

また、第2790地区より義捐金送金に関する御礼状を頂戴しましたので、ご報告申し上げます。

ガバナー 大谷 光夫

2019-20年度ガバナー会

議長 浅田 豊久 様

我が千葉県は 気候温暖、風光明媚、災害の少ない県として、私も借じて生活してまいりました。今回の台風15号では直撃を受け、19号では関東、甲信、東北に到る東日本広域に亘る甚大な洪水、決壊被害、さらに21号と低気圧による相乗豪雨で河川が氾濫し、当地区は3度の被害を蒙りました。南部地域のクラブは存続の危機にあります。

RI マローニー会長より、被災地区へのお見舞いと財団資金の災害救援補助金を活用できるとの書簡によるご案内をいただき、地区財団委員会が急ぎ申請しましたが、15万ドルの災害救援基金の残高が一斉の申し込みにより枯渇してしまったとのことです。また、地区財団活動資金(DDF)より財団救援基金に寄付したうえで長期の補助金を得るなど長期的な復興活動を継続することを考えております。

既に10地区を超える同期ガバナーの方々から有り難いお見舞いを拝受しておりますが、さらに復興のためのご援助をお願いしたいと存じます。まことに勝手なお願いで恐縮ですが、下記要領でご送金いただければ有り難く存じます。

1. ご送金は地区でお取りまとめのうえ、下記口座へお振り込みください。

千葉銀行 津田沼支店 普通預金 3727241

国際ロータリー第2790地区 災害特別基金 山田 修平

2. お振込み名は地区番号のみでお願いします。(例：D2790)

3. お振込みと同時に下記にご記入のうえ、当事務局までE-Mail又はFAXにてお知らせくださいますよう、お願いいたします。

国際ロータリー第2790地区ガバナー事務所
TEL 043-284-2790 FAX 043-256-0008
E-mail 19-20gov@rid2790.jp

地区番号 : 2560
送金日 : 2020年3月4日
振込金額 : 1,650,000円

ご連絡先電話番号 : 025-512-1435
ご担当者氏名 : 本山 秀樹

以上



国際ロータリー第2790地区
2019-20年度
ガバナー 義捐金
【ガバナー事務所】
〒260-0042 千葉県千葉市中央区博徒 3-1-1-302
Tel. 043-284-2790 Fax. 043-256-0008
E-mail: 19-20gov@rid2790.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2790
2019-20
GOVERNOR YASUHIKO MOROOKA
【2019-20 RID2790 GOVERNOR OFFICE】
3-1-1-302, TSUBAYAMORI, CHUJOKU CHIBA-CITY, JAPAN 260-0042
Tel. +081-43-284-2790 Fax. +081-43-256-0008
E-mail: 19-20gov@rid2790.jp

2020年3月吉日

国際ロータリー
2019-20年度ガバナー 各位
全国ロータリアン 各位

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 諸岡 晴彦

台風15号・19号・21号豪雨災害ご支援の御礼と報告

謹啓

陽春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、2019年の台風15号・19号・21号豪雨災害に際しましては、心温まるお言葉や励ましのお言葉を頂き、多大なる支援金をお寄せ頂き、誠にありがとうございました。

これまで経験したことが無いほどの暴風雨と、降り続いた集中豪雨により河川の氾濫や土砂崩れが発生し、家屋や山林農地等に甚大な被害をもたらしました。

それによりライフラインの寸断等の生活の基盤の復旧に月日を要しました。

現在も被災者の方々は、生活再建を中心とした復旧活動に取り組んでおられます。

お寄せいただいた支援金(55,401,271円)は激甚災害指定地域の市町村へ、又、被害にあわれた地区内クラブへお届けしました。

現下、世界は新型コロナウイルスが蔓延する渦中にありますが、全国のロータリアンと共に、一日も早い沈静を願うものです。

ここに、全国のロータリアンから温かいご支援に厚く御礼申し上げますと共に、ご報告申し上げます。

敬具

コロナウイルスによる 影響について

ロータリーではコロナウイルス（COVID-19）の状況をモニタリングしており、ロータリーの運営、行事、研修セミナー等への影響の可能性を引き続き注視しています。

ロータリーは、皆さまの健康と安全を最優先しています。影響を受ける可能性のあるロータリーの活動について、下記の情報をご参照ください。このページは新しい情報が入るたびに更新されます。

近日に予定されている会合やイベントについて、国際ロータリーは、地区およびロータリークラブとローターアクトクラブが国・地元の保健当局の勧告に従い、会合・イベントをオンラインで行うか、中止または延期とすることを推奨しています。

ロータリーは、次の方法で感染の予防対策を行うことを会員とその家族に奨励しています：十分に手を洗うこと、地元で感染者が出ている場合は、人との距離をあけること、症状が出ている場合は自宅から出ないこと。

新型コロナウイルス対応のための補助金の使用について

奉仕を大切にするロータリー会員は、世界でパンデミックを引き起こしている新型コロナウイルスへの対応を支援し、その影響を受けている人びとを助けたいと感じています。ロータリー財団は、地元や海外の人びとを守り、助けるためにロータリアンが活用できるいくつかの選択肢を提供しています。

地区補助金

地区は**地区補助金**の資金を活用して、地元の医療従事者に寄贈する物資（体温計、医療用防具、その他の物資）の購入といった地元の活動を支援できます。地区はさらに、未完了の地区補助金からの臨時費を利用したり、以前に計画していた活動を新型コロナウイルス対応のために使うこともできます。2020-21年度の新しい地区補助金申請書を提出する準備を地区で進めていると思いますが、資金を新型コロナウイルス対応に配分することを財団は奨励しております。1度限りの例外として、財団は、新型コロナウイルスと関連して2020年3月15日以降に発生した費用を、2020-21年度地区補助金を通じて賄うことを認めます。

災害救援補助金およびロータリー災害救援基金

ロータリーの**災害救援補助金**は、地元での災害に対応するための迅速かつ効果的な方法です。ロータリー財団は最近、これらの補助金の使用が認められる活動のリストに、新型コロナウイルス関連プロジェクトを追加しました。各地区は、新型コロナウイルスへの対応を目的として、25,000ドルを上限として1口の補助金を申請できます（ただし基金の残額状況に基づきます）。災害救援補助金は、災害に対応する世界中の地区を支援するため、ロータリー災害救援基金への寄付によって賄われています。この基金へのご寄付は、オンライン寄付とDDFで受け付けています。地区は、災害救援基金に寄贈するDDFを、新型コロナウイルス対応の補助金活動だけのために使用するよう指定することができます。現金寄付は、新型コロナウイルスを含む、災害対応全般のために活用されます。

グローバル補助金

グローバル補助金は、地域社会に変化をもたらすための優れた方法です。新型コロナウイルスに効果的に対応するために医療物資が必要とされている場合、グローバル補助金でそれらの購入を援助できます。財団は、新型コロナウイルスに取り組むための新規のグローバル補助金について、実施国外からの資金を30%とする要件を適用しないこととなりました。これらの補助金の場合も実施国と援助国の双方の提唱者が必要となることにご留意ください。

ご質問は**地域別補助金担当職員**にお問い合わせください。

ポリオ

ポリオ根絶プログラムではこれまで、ポリオウイルスの特定やワクチン配布キャンペーンを通じて大規模なインフラを築いてきました。各国のポリオ根絶担当チームは、このインフラを新型コロナウイルス（COVID-19）への対応に活用することで、感染リスクにさらされやすい人、特にポリオ常在国の人びとを新型コロナウイルスから守るべく支援に乗り出しています。[詳細はこちらから](#)。

ロータリー国際大会

大変残念なお知らせです。新型コロナウイルスによる脅威が続いていることを受け、2020年6月6～10日に開催予定だったロータリー国際大会が中止となりました。

新型コロナウイルスは引き続き急速に広がっており、ロータリーでは、会員、スタッフ、出席者、ホノルル市民の健康と安全を守るために国際大会を中止するという難しい決定にいたった次第です。[詳しくはこちらをご覧ください](#)。

その他の主要イベント

全関係者の健康を守るため、ロータリーは、3月28日にユネスコ（フランス・パリ）および5月9日に食糧農業機関（イタリア・ローマ）でそれぞれ予定されていた会長主催会議を中止しました。登録者には、詳細と登録料返金に関するEメールが主催者から送られます。

クラブと地区の会合

近日に予定されている会合について、国際ロータリーは、地区およびロータリークラブとローターアクトクラブが、健康と安全を守るために**世界保健機関（WHO）**および自国の保健当局が定めるガイドラインに従い、会合やイベントをオンラインで行うか、中止または延期とすることを推奨しています。可能であれば、会合はオンラインや電話で行ってください。

旅行やイベントへの参加を検討する場合、各自の健康状態や現地の状況にご注意ください。

ロータリーのリーダーシップ、委員会、RI事務局

R理事会とロータリー財団管理委員会の会合は、直接会合ではなくウェビナーで行われます。

ロータリー世界本部（米国イリノイ州エバンストン）で3月と4月に開催される予定だったロータリー委員会会合は中止となりました、可能であれば、委員会がオンラインで会合を行う可能性があります。3月と4月にエバンストンの本部で予定されていた全行事は中止または延期となりました。

世界本部と国際事務国のRI職員の旅行は、4月30日までキャンセルされました。

ロータリー青少年交換

コロナウイルスの影響が出ている地域との交換を行っている場合、相手地区に連絡し、留学中の学生のために感染予防対策が取られていることを確認してください。すべての地区および学生とその親・保護者は、最新情報や関連情報を入手するために、大使館や領事館、国際的な保健機関（**世界保健機関**など）、保健当局が発行したガイドラインを確認すべきです。

受入地区は、学生の旅行または地元での活動が、参加者をより大きなリスクにさらすことになるかどうか、あるいは、帰国時に入国が困難となる可能性があるかどうかを検討する必要があります。必要不可欠な旅行でなければ、中止または延期することを検討できます。

学生の滞在場所における健康や安全について親・保護者が懸念を抱いている場合、可能な限り、相手地区と協力して学生をほかの場所に移動させることを検討してください。親・保護者が学生の帰国を選ぶ場合もあります。

ロータリー平和フェローシップとその他のプログラム

平和フェローについて：米国疾病対策センター（CDC）によって渡航注意レベル「3」と指定された国は、ロータリーの旅行禁止国リストに追加されました。ロータリー職員とフェローによるこれらの国へ（から）、またはこれらの国内におけるすべての不必要な旅行は制限されます。渡航注意レベル「2」に指定された国へ（から）またはこれらの国内における旅行を計画している場合は、各自で判断してください。現在コロナウイルスの感染が広がっている国にいるフェローは、受入大学および国の保健当局による勧告に従うことをお勧めします。

実地体験の準備をしている1年目のフェローは、留学国内で実地体験を行うことを検討し、旅行制限が厳しくなった場合に備えて代替計画を立てておくことをお勧めします。ロータリーは、健康面と安全面での問題に加え、実地体験後にフェローが隔離や入国制限の対象となる可能性を懸念しています。ロータリーの方針が実地体験にどのような影響を及ぼすかについて質問がある場合には、担当職員までご連絡ください。

インターアクトとロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）について：計画されているイベント、旅行、地元活動により青少年が大きなリスクにさらされるかどうかを検討し、必要不可欠ではない旅行または大勢が集まる行事は中止または延期とすることをご検討ください。

学校を拠点とするプログラムの参加者に影響を与える休校または始業の遅延については、学校の指示に従ってください。また、学校が再開するまで学生の安全を守りつつ、どのように参加を維持できるかについて検討してください。ロータリー活動・行事の参加者が感染する可能性とその他の悪影響を最小限とするために、ロータリークラブと地区がどのような対策を取っているかを親・保護者に説明してください。

ロータリー友情交換の参加者およびロータリー行動グループとその関連支部は、イベント、会合、活動の中止または延期を検討する際に、**世界保健機関**および現地の国・地域の保健当局からの勧告に従うべきです。

ロータリー友情交換や新世代交換といった国際交換を行っている地区は、現在高まりつつある感染リスクに参加者をさらしてしまう可能性があります。運営者は、予定している旅行や活動の中止や延期を検討する際、世界保健機関や参加国・地域の保健当局が定めるガイドラインに従うべきです。

ロータリーの費用による旅行

国際ロータリーとロータリー財団は、健康と安全を守るために、ロータリー補助金の受領者とロータリー青少年交換参加者、ロータリー平和フェロー、またはロータリーの費用による旅行者が、世界保健機関（WHO）および自国の保健当局が定めるガイドラインに従うことを推奨しています。

ロータリーの[旅行禁止国のリスト](#)に目を通し、補助金による旅行が認められるかどうかをクラブ・地区と確認してください。ロータリーの費用による旅行に関するこのほかの質問は、該当プログラムの担当職員までお問い合わせください。

新会員(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
巻	伊藤 隆英	2020.3.1	bebox	社長	写真家 サービス1
柏崎中央	割田 貴文	2020.3.3	東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所	広報部長	電気事業
中条	天木 正史	2020.4.1	(株)天木セメント瓦工場	代表取締役	瓦製造施工・建築板金・ 太陽光施工
中条	延本 龍太郎	2020.4.1	延本石油(株)	取締役	揮発油等の小売業
中条	富樫 新一	2020.4.1	-	-	農業経営
柏崎	小松 孝仁	2020.4.1	柏崎刈羽原子力発電所 定検工事事務所	所長	発電プラント、保守工事
柏崎	石井 武生	2020.4.1	東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所	所長	発電事業
糸魚川中央	小川 節雄	2020.4.1	小川建設(株)	代表取締役	土木技術
加茂	工藤 素子	2020.4.2	LJスタジオ	店長	ライブハウス
長岡東	久保田 光洋	2020.4.8	日本電気(株)	長岡支店長	電機機器製造販売
長岡東	山崎 宏志	2020.4.8	あいおいニッセイ同和損保(株)	長岡支店長	損害保険業

訃報

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類
新潟南	荻部 浩二	2020.3.7	新商(株)	取締役相談役	精油製品配布

心よりご冥福をお祈り致します。

第2560地区 2019-20年度3月末 会員数およびMy Rotaryアカウント登録率

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2019年 7月1日	3月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	-	381	391	39	10
新発田	1	22.1%	91	95	0	4
村上	1	17.5%	36	40	10	4
水原	4	20.0%	30	30	1	0
中条	1	100.0%	39	40	4	1
新発田城南	2	14.6%	47	48	4	1
豊栄	5	17.4%	23	23	3	0
新発田中央	1	4.2%	50	48	5	-2
中条胎内	0	55.6%	37	36	6	-1
村上岩船	4	22.6%	28	31	6	3
第2分區(9クラブ)	／	-	424	440	28	16
新潟	0	18.3%	84	88	2	4
新潟東	0	17.2%	54	58	9	4
新潟南	1	34.0%	103	103	3	0
佐渡	2	100.0%	6	6	0	0
新潟西	2	52.5%	37	40	2	3
佐渡南	1	9.8%	41	41	5	0
新潟北	0	26.8%	38	40	0	2
新潟中央	0	47.6%	22	21	0	-1
新潟万代	1	51.2%	39	43	7	4
第3分區(6クラブ)	／	-	109	110	5	1
新津	0	11.1%	19	18	0	-1
村松	4	72.7%	10	11	0	1
五泉	2	0.0%	12	12	1	0
白根	1	29.4%	31	34	1	3
新津中央	0	29.6%	28	27	2	-1
阿賀野川ライン	0	0.0%	9	8	1	-1
第4分區(11クラブ)	／	-	370	382	28	12
三条	0	10.2%	56	59	0	3
燕	1	5.1%	33	39	3	6
加茂	0	10.3%	28	29	4	1
三条南	1	10.6%	48	47	3	-1
分水	5	80.6%	28	31	4	3
見附	0	8.7%	20	23	1	3
吉田	0	6.7%	31	30	4	-1
三条北	1	0.0%	60	61	3	1
巻	1	0.0%	25	23	1	-2
田上あじさい	0	14.3%	7	7	1	0
三条東	0	6.1%	34	33	4	-1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会員数			
			2019年 7月1日	3月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	-	305	316	26	11
長岡	2	90.4%	46	52	4	6
柏崎	0	2.2%	41	42	0	1
長岡東	0	24.1%	58	58	3	0
柏崎東	0	18.0%	48	49	4	1
栃尾	4	12.5%	22	24	0	2
長岡西	0	18.2%	54	55	5	1
柏崎中央	2	25.0%	36	36	10	0
第6分區(6クラブ)	／	-	141	140	11	-1
十日町	3	19.4%	28	31	3	3
小千谷	1	9.1%	32	32	2	0
雪国魚沼	4	4.2%	26	25	3	-1
十日町北	3	4.3%	23	23	2	0
津南	4	16.0%	26	23	1	-3
越後魚沼	4	16.7%	6	6	0	0
第7分區(8クラブ)	／	-	322	345	25	23
高田	0	32.1%	59	77	5	18
直江津	1	31.9%	64	72	7	8
新井	1	0.0%	33	32	1	-1
糸魚川	0	95.1%	42	41	2	-1
高田東	1	69.4%	36	36	2	0
糸魚川中央	1	51.4%	35	34	0	-1
頸北	0	23.1%	13	13	2	0
越後春日山	0	100.0%	40	40	6	0

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,052 人
3月末 会員数	2,124 人
女性会員数	162 人
純増減会員数	72 人
My Rotaryアカウント登録率	28.4 %

【地区予定表 5 - 6月】

5月	- 青少年奉仕月間 -		
	10 (日)	水原RC 創立60周年記念式典 (会員のみ)	五十嵐邸ガーデン
	16 (土)	ロータリー財団地区奨学生候補者オリエンテーション 延期	ホテルオークラ新潟
	23 (土)	豊栄RC 創立50周年記念式典 中止	月岡温泉 清風苑
	24 (日)	糸魚川中央RC 創立40周年記念式典 延期・会員のみ	
	30 (土)	佐藤年度 地区研修・協議会 開催方法変更	
6月	- ロータリー親睦活動月間 -		
	9 (火)	新潟RC 創立80周年記念式典 中止	ホテルイタリア軒
	20 (土)	長期交換学生オリエンテーション・壮行会・お別れ会 中止	ホテルハイマート
	21 (日)	ロータリー財団 学友会総会 中止	
	27 (土)	ローターアクト地区大会	アートホテル新潟駅前
	28 (日)	大谷年度感謝の集い	
		ローターアクト地区協議会	



「緊急事態宣言」のもとで

COVID-19感染者の急激な増加により、4月7日に7都府県に「緊急事態宣言」が出されました。この緊急事態宣言の発動が少し遅いかも知れませんが、国民一丸となって取り組まないと終息が見えてきません。

中国から始まりヨーロッパに続いてアメリカ更には南米やアフリカと地球全域へと感染拡大です。このような状況下で、日本各地のロータリークラブ・ロータリアンは2月ないし3月から活動を自粛しており、3月・4月の例会や地区の行事も延期・中止が続いております。恐らく5月も活動再開が難しく、ハワイでの国際大会が行われなくなった事からも6月の活動も厳しい状況です。

国民の生活が一変した未曾有のパンデミック真只中で、各自の生活を守るための行動が最も大切であり、夫々の事業や家族を守る事に全力投球が続く状況下において、例会に参加してロータリー生活を楽しんでいた生活習慣がこの2月～3月から活動自粛により崩れ、ロータリーから心が離れ退会に向かう会員が出てくる可能性が多いに有ります。

各クラブの会員同士が連絡を取り合ってつながりを保ちましょう、そして地域社会への奉仕する方法を探しましょう。

更にはスカイプ、Zoom、GoToMeetingなどのオンラインツールを活用して例会を開くことも可能です。各クラブでオンライン例会にもチャレンジしてつながりを保ち続けましょう。その際にはロータリーのウェブサイトで、オンライン例会を開催するためのヒントやガイダンスをご覧ください。

日常生活に追われ頭の中からロータリーが消えかかっている会員の為にも、日本中のクラブ会長さんを筆頭に多くのロータリアンが「ロータリー情報…心に留まる情報」を各会員に発信し続け、各会員に「自クラブとロータリー」を頭の中に留めさせて下さい。必ずこのCOVID-19によるパンデミックは終息し、楽しいロータリー活動が戻ってきます。

各自のロータリー活動を見直し近い将来の活動を思い描きながら、ロータリー情報を発信しつながりを保ち続けましょう！

第2地域ロータリーコーディネーター補佐 松坂 順一（東京葛飾東RC）



1. 新型コロナウイルス感染拡大の中で迎える新学年度

4月から新学年度が始まりました。
 4月7日、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、7都府県に緊急事態宣言が発令されたことから、当会では翌8日付で、2020学年度の新規奨学生および継続奨学生に対し、「挨拶ならびに大切なお知らせ」として、現在の状況説明、今後守るべき諸注意事項などをホームページに掲載すると共に、各人にメールで送信しました。
 例年、4月に各地区で開催される米山奨学生のオリエンテーションについては、4月13日現在、中止が16地区、延期が11地区となっております。



第2770地区では窓を開放し4回に分けて開催

り、開催する場合も分散して小規模にと、“3密”を避けての実施が徹底されています。
 オリエンテーションは、新しくロータリーファミリーの一員となった米山奨学生を歓迎すると同時に、米山奨学生としての責務を確認してもらう重要な機会ですが、感染拡大防止を第一にさまざまな形を工夫し、各地区、世話クラブで奨学生へのケアにご尽力いただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。平時とは異なるスタートですが、新学年度の米山奨学生をどうぞよろしくお願いいたします。

2. 自宅でできる奉仕活動を — タイ米山学友会 —

タイ国内において新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、タイ米山学友会では3月27日に募金活動を開始。会員からの寄付金と学友会からの資金を合わせた50,000バーツ（約16万6千円相当）をタマサート大学病院へ送り、医療機器購入費に充ててもらったこととしました。
 首都バンコクでは、3月22日から食品や生活必需品の販売以外のすべての店舗を休業させ



るなど、厳しい措置を導入して警戒を強めています。こうした状況下、同学友会では「外出しなくても出来るプロジェクト」を模索していたと言います。ワシン・テイシャチャイニラン会長（2011-12/東京清瀬RC）は、「学友会としてできることを、これからも絶対にやり遂げていきます。皆で力を合わせて、この困難を乗り越えましょう」と、力強く述べました。

3. 寄付金速報 — 新型コロナウイルスの影響続く —

3月までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金：2.3%減、特別寄付金：4.5%減）、約4,500万円の減少となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、先月よりも更に減少幅が広がる結果となりました。収束の見通しが立たない中、少なくともゴールド

ンウィーク明けまでは引き続き厳しい状態が続くと思われます。
 ロータリアンの皆さまも、事業や暮らしのうえでさまざまな不便を強いられている日々と存じます。皆さまのご健康と、一日も早い事態の収束をお祈り申し上げます。

4. Web 感謝祭に反響多数！ — 関西米山学友会 —

第 2660 地区（大阪府）の関西米山学友会では、毎年 3 月に「米山感謝祭」を開催し、現役米山奨学生がお世話になったロータリアンへ感謝の気持ちを届ける場としています。しかし、今年は新型コロナウイルスの感染が広がり、地区の行事が相次いで中止となる事態に。そこで同学友会は知恵を出し合い、インターネット上で感謝祭を開催することを決定しました。

ロータリアンに向けた奨学生のリレーメッセージ、ガバナーや地区米山奨学委員長からの祝辞など、急ピッチで動画を作り上げ、本来集まるはずだった 3 月 8 日 18 時に配信を開始。参加予定だったロータリアンや奨学生・学友たちは、この動画を見ながら 1 年間を振り返りました。同学友会のアルフ・ザイニ会長（2013-15 / 大阪城東 RC）は、「配信後、たくさんの人



から感動の声をいただいて、本当にやってよかったと思いました。今後も、私たち米山学友会は何があろうとも、動じずに、前向きに進みたいと思います」と、語ってくださいました。

▼米山 Web 感謝祭（短縮版、約 10 分）

<https://youtu.be/WfKPwHDQ3oQ>

5. ミャンマー米山学友会が総会を開催

ミャンマー米山学友会の総会が 3 月 21 日、ヤンゴン市で開催され、同市在住の学友 8 人のほか、マンダレーや日本からも学友が駆けつけ、計 13 人の学友と家族 2 人が参加しました。開催にあたって当初、『ロータリーの友』1 月号で告知をするなど、日本から多くのロー



タリアンに来ていただきたいと考えていましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、今回は学友のみでの開催となりました。

理事会ミーティングのあと、事前に実施されたアンケート結果に基づき、学友会規則の改

編、田中作次奨学基金の管理方法やミャンマー政府への学友会登録について話し合われました。また、今後の新たな活動として、被災地支援事業、日本のロータリアンが実施するミャンマーの子どもたちの健康診断への協力、衛星クラブの設立^{※1}を予定しており、それら

の準備会を立ち上げ、総会を終えました。

※1 4 月 2 日付で「Rotary Satellite Club of Central Yangon, Endeavour Myanmar」の設立が承認されました。創立会員は 9 人、うち 8 人が米山学友です。

在宅勤務のお知らせ

当会事務局では、新型コロナウイルス感染拡大リスクの最小化を目的に、原則として在宅勤務（テレワーク）を実施しています。関係各位には大変ご不便をおかけいたしますが、何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

【実施期間】4 月 3 日（金）～4 月 17 日（金）予定 ※状況により期間延長の検討をいたします。

【期間中の問い合わせ対応】原則として、メールにて対応をさせていただきます。詳細は当会 HP まで。



2020年 4月 25日

ガバナー 各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 大野 清一

拝啓 陽春の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、常々ロータリー文庫へのご協力を心から感謝いたしております。今回は、下記4点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載くださるようお願いいたします。

敬具

文庫通信 [382]

ロータリー文庫通信382号 2020年4月 新型コロナウイルス禍の下で

新型コロナウイルス感染の拡大はロータリー活動に多大な影響を与えています。ハワイでの世界大会は中止となりました。国内においても、PETSや地区大会の中止を余儀なくされました。その中で、特に「幻の講演」となったD2650地区大会RI会長代理の鳥居PDGの「RI現況報告」を掲載します。

また「緊急事態宣言」により、外出の自粛を要請され在宅時間が多くなり、ロータリーについて考える機会が与えられました。そこで今回は、115年を超えるロータリーの歴史の中で、ロータリーの奉仕哲学とその奉仕の実践に関する基本原理を簡明かつ的確に表現している「決議 23-34」について、更に、国際ロータリーという組織の本質は何かを考える意味で、2019年規定審議会で事務総長に与えられた「CEO(最高経営責任者)」という名称が何を意味しているかについて、考えていただければと思います。

書名	著者/出版社等	発行年	頁	※
RI現況報告「ロータリーの変遷と本質」 (D2650地区大会 RI会長代理)	鳥居 滋/岡山東RC D2690PDG	2020	13P	※
決議23-34はロータリーのキイ・ポイント である (増補改訂版 関西ロータリー研究会)	末積 正/神戸RC D268	1987	125P	※
決議23-34 歴史的背景と意味 (D2680 職業奉仕講演会) (P.P.T.174枚)	刀根 莊兵衛/敦賀RC D2650PDG	2018	17P (29P)	※
CEOとして最強の権限を与えられた事務総長 (追加資料提供：D2650PDG刀根莊兵衛)	田中 毅/尼崎西RC D2680PDG	2020	4P (13P)	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

*資料の検索は文庫ホームページから <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

ロータリー文庫通信



ロータリー文庫の資料から、毎月資料を厳選して発信しています。
[詳細はこちらへ](#)

ロータリー文庫検索



2万点余りある資料を検索出来ます。PDFのみの検索も出来ます。
[詳細はこちらへ](#)

ロータリー文庫について



- ・文庫について
- ・HP利用方法
- ・運営委員会から

<デジタル化資料>

[主なデジタル化資料はこちら](#)

Click!

こちらをクリックすると、デジタル化資料の中で、おすすめの書籍資料リストをご覧いただけます。



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2019-20 年度ガバナー事務所

〒943-0834 上越市西城町 2-3-9 JCV アネックスビル 1F

TEL:025-512-1435 FAX:025-512-5854

E-MAIL:m.otani@rid2560niigata.jp